



# 黒須田だより

横浜市立黒須田小学校 学校だより

# 10月号

令和5年9月25日

学年の様子など、ホームページもごらんください。 <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kurosuda/>



## 目標への挑戦

校長 平岡 仁樹

秋分の日を迎え朝夕の空気は幾分涼しくなりましたが、まだまだ暑い日が続いています。たくさんの汗をかきながら登校してくる子どもたちを見ていると、秋の訪れが待ち遠しい9月でした。

先日、スポーツ委員会の子どもたちが企画・運営して4年ぶりの「長縄集会」が行われました。この集会を計画したスポーツ委員会が立てた目標は、集会を通して「記録を出すこと」ではなく、「体を動かし、運動に親しみ、クラスの仲間と協力し、成長すること」でした。4年ぶりとなる集会は委員会の5・6年生にとっては初めての経験でしたので、集会の日程やルールを考えたり、運営や司会の準備をしたりと、まさに「目標への挑戦」となりました。

この活動の裏では、学校教育目標「えがおいっぱい げんきいっぱい ひらめきいっぱい かがやく子ども」の達成に向けた教職員の「挑戦」もありました。

9月になり、どのクラスも集会に向けて長縄跳びの練習に取り組み始めました。しかし、厳しい残暑により、熱中症警戒アラートが出たり校庭の暑さ指数(WBGT)が28以上(嚴重警戒)となったりと、校庭で活動することができない日々。子どもたちは思うように練習ができません。

そこで動き出すのが本校職員です。外で活動できず体を思いきり動かすことのできない子どもたちのために「安全に活動できる場所を提供したい」と考えるのが教職員。アイデアを持ち寄って話し合い、日陰となるアリーナ昇降口前と午後には日陰になるレンガ道を時間限定で使用できるようにしました。もちろん、安全に活動するためのガイドラインの共有も行いました。実際には小さなスペースと限られた時間ではありましたが、子どもたちがクラス目標の達成に向けて練習に励む姿をたくさん見ることができました。

こうして迎えた集会当日。どのクラスも目標を掲げ、仲間と気持ちを高め、掛け声を合わせ、励まし合い、懸命に縄を回し、気持ちをそろえて跳んでいました。結果、目標を達成できたクラスもあれば、できなかったクラスもありました。うれしく満足げな子もいれば、残念な思いで悔しい顔をしていた子もいます。どちらも必要な経験です。結果はともあれ「目標への挑戦」を繰り返し経験することで、忍耐力や自己制御力、自尊心や自信、仲間への敬意や思いやりといった「社会情動的スキル(非認知的スキル)」を身に付けていくことができるものです。

黒須田小学校は引き続き、子どもも大人も結果にとらわれず、「目標への挑戦」を続けることができる学校として教育活動を進めていきたいと思っています。10月は運動会に挑戦します。